

Cobolt o8-01 Series

Compact | Narrow linewidth lasers



Applications

Raman Spectroscopy

Interferometry

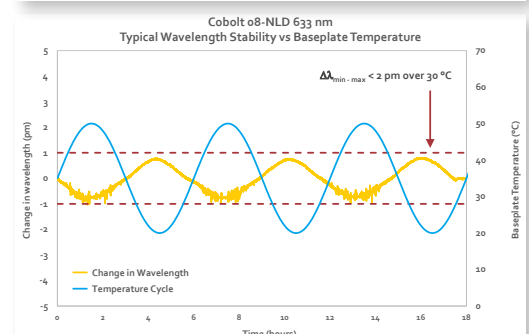
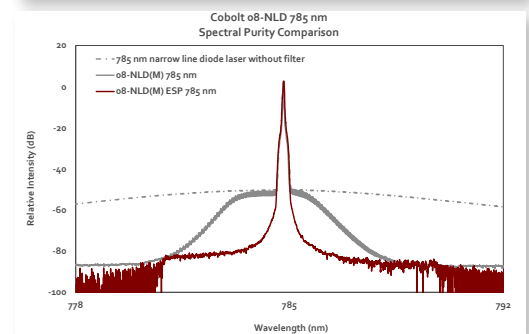
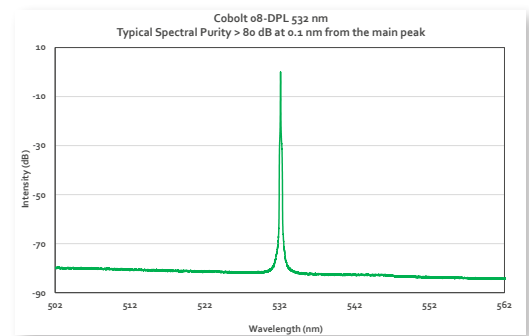
Quantum Research

- CW (連続発振) 出力が最大500mWの単一周波数ダイオード励起レーザー (DPL)及び 狭線幅ダイオードレーザー
- 高スペクトル安定性と低ドリフト特性
- 高サイドモード抑圧比 (SMSR) を維持するために、スペクトル解析フィルタを搭載
- アイソレーター搭載：光学フィードバックの影響なし
- 高堅牢性の密閉筐体 及び 現場で実証済みの高信頼性
- ファイバピグテール (オプション) を融着接続することにより、面倒な光軸合わせが不要
- 対応波長：405 nm, 457 nm, 473 nm, 488 nm, 515 nm, 532 nm, 561 nm, 594 nm, 633 nm, 638 nm, 660nm, 785nm, 830nm, 1064nm

Cobolt 08-01 シリーズは、狭線幅 CW発振のレーザーで、ダイオード励起 Cobolt社製の08-01シリーズは、狭線幅CW発振のレーザーで、ダイオード励起レーザー (DPL) とNLD (周波数安定化ダイオードレーザー) があります。405 nm~1064 nmの幅広い固定波長領域でご用意しています。08-01シリーズレーザーの設計及び製造においては、業界で最高水準の信頼性を達成しています。

Cobolt社製のレーザーは独自のHTCure™製法により 高堅牢性のコンパクトな筐体を実現しています。レーザーは、安定した高品質ビームと高信頼性のスペクトル特性を有し、ラマン分光法や干渉法などの高安定・狭線幅スペクトルが必須条件となる高度な分析用途に最適です。

Cobolt社製の08-01シリーズレーザーは、単体での実験装置として使用するようにできていますが、小型設計で、かつ駆動および制御用エレクトロニクス部品を完全統合しているので、分析装置におけるOEM製品としての組み込みにも最適です。



HÜBNER Photonics



